

# ベランダそうじの裏ワザ

梅雨、真っ盛り。ベランダに出る機会も減り、サッシュも閉じ切った日が続いていますが、部屋はこまめに掃除をするものの、ベランダは意外と忘れがち。しかし、ベランダの床やサッシュは放っておくとカビの原因になります。そこで、今回は、ベランダ掃除の裏ワザをご紹介します。



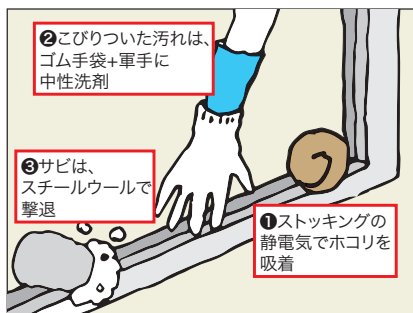
## ベランダの床は、柑橘系の皮とぬれ新聞で

マンションなどに住んでいると、下の階の人に気を使って、大量の水で床を流すことを遠慮してしまいます。そこで、水を使わず掃除をするために必要なのが、新聞紙とミカンやレモンなどの柑橘系の皮。まず、柑橘系の皮をちぎってベランダの床にまんべんなく撒きます（洗剤の代わりに）。さらに、新聞紙を水にぬらして軽く絞り、3センチ程度にちぎって床に撒きます（ホコリを吸着してくれます）。それらをほうきで掃いて集めるだけ。最後にモップで拭き掃除で完了。習慣にしたいものです。



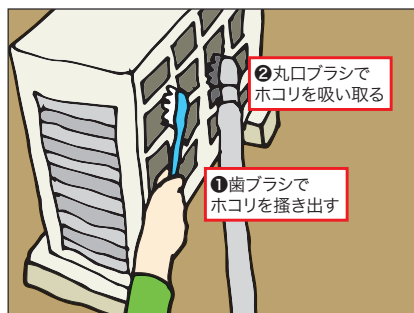
## レールのホコリ取りは、使い古したストッキングで

ホコリがこびりついて掃除が大変なのが、ベランダのレール。レールにたまったホコリに便利なのが、使わなくなったストッキングです。ストッキングの静電気でホコリをぐんぐん吸いつけてくれます。こびりついた汚れは、軍手の出番です。ゴム手袋をはめた上に軍手をはめ、2倍に薄めた中性洗剤で磨きます。レールにカビが生えた時は、お酢を流し込んで10分経ったら、水拭きを。サビのブツブツができてしまった場合は、スチールウールに水をふくませ石けんを泡立てこすりましょう。



## 室外機はこまめな掃除で電気代の節約に

夏を迎える前にやっておきたいのが、室外機の掃除。室外機の近くで洗濯物を干している方は要注意。洗濯物から出たホコリが室外機の背面に張り付いて、熱交換が出来ずに冷えが悪くなっているかも。そんな時は、歯ブラシでホコリを掻き出して、掃除機の先に丸口ブラシをつけて、吸ってください。空気の入出力口の汚れは、水を付けたシューズブラシでこすります。内部は危険なので、解体はしないこと。また、動かすときは配管に余裕がない場合、配管を傷めることになるので気をつけましょう。



『326号手作り万能洗剤で大掃除』『317号毎日ほんの5分で終了!ながら・ついて掃除法』『302号見落としがちな掃除の盲点』

『296号水回りの湿気を撃退、らくらく掃除術』『254号とっても簡単!すっきりキレイ!プロに教わる大掃除術』

『243号おばあちゃんのおそうじ知恵袋』『242号おばあちゃんのおそうじ知恵袋』もあわせてご覧ください。

まだまだあります **バックナンバー**。詳しくは「住まいの宝箱」HPの「お困りキーワードでサイト内検索!」**掃除** **検索** >で!